

平成 20 年度 学校評価報告書

1. 自己評価結果

	設 定 目 標	自 己 評 価
学 習 指 導	<p>1) 単位制を活かした個に応じた指導を徹底し、単位取得率の向上を図る。</p> <p>2) 多様な生徒の実態に応じた教育課程を実施する。特に、学校設定科目や「総合的な学習の時間」、「情報」等についての指導方法・内容の工夫改善に努め、「学校支援人材バンク」や地域の諸施設との連携および地域人材の活用を積極的に図る。</p>	<p><b>概ね達成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各教科において、基礎・基本を明確にし、教材の精選・工夫を行っている。</li> </ul> <p><b>やや課題あり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教員間で教科を超えて、授業の相互見学、授業方法や評価の在り方についての協議検討を行う機会の増加が望まれる。</li> <li>教育活動において、グループ学習や体験学習等、学習形態の工夫・改善を行う余地がある。</li> <li>学習意欲の高い生徒に対する学習指導を、個に応じた視点で工夫する必要がある。</li> </ul>
生 徒 指 導	<p>1) 多様な生徒に対する教職員の適切な指導と対応を組織的に行い、「だれもが安心して学べる学校」として府民の信頼を確かなものにするとともに、平素から生徒の安全と教育環境の保全のために、関係諸機関との連携と危機管理体制の充実に努める。</p> <p>2) 生徒の参加を促す特別活動を充実させることを通して、生徒の市民としての自律性とマナーの涵養に努める。</p>	<p><b>概ね達成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の問題行動等の生起に際し、組織的に対応できる体制が整っている。</li> <li>教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教員とも相談することができる。</li> <li>学校行事が生徒にとって魅力あるものとするために、工夫・改善を行っている。</li> </ul> <p><b>やや課題あり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育活動において、生徒に社会規範や市民道徳を守る意識が育まれる機会をつくるよう、いっそう配慮する必要がある。</li> <li>学校として、生徒が達成感を得られるよう、部活動の活性化について工夫する余地がある。</li> </ul>
進 路 指 導	<p>1) 関係諸機関との連携を進め、インターンシップを積極的に導入するなどキャリア教育の充実を図り、生徒一人ひとりの勤労観を育成し、進路実現・自己実現を支援する。</p>	<p><b>やや課題あり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が望ましい勤労観、職業観を持つことができるよう、各年次に応じた進路指導の系統性が望まれる。</li> <li>生徒一人一人が興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、よりいっそうきめ細かい情報提供を行う必要がある。</li> </ul>
人 権	<p>1) 生徒の自尊感情育成を見据えた人権教育と、そのための教職員人権研修の充実に努める。さまざまな人生経験と立場を有する多数の生徒・教職員が会う本校においては、お互いの思いや立場を尊重する「他者に対する優しさ」と「違いを受け入れる心」を重視する。</p>	<p><b>概ね達成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人権尊重に関する様々な課題や指導方法について、機会あるごとに全教職員で話し合っている。</li> <li>在日外国人や障害者に対する偏見や差別のない社会、男女共生意識に基づく社会をめざして、主体的な生き方につながる学習となるよう工夫し</li> </ul>

教 育	2) 教職員間、教職員と生徒間、および生徒間におけるセクシュアル・ハラスメント等の人権侵害を許さない学校づくりをめざし、教職員研修の充実を図るとともに共感できる人権教育の取組を進める。また、人権侵害事象の未然防止と相談のための学校体制を整備する。	ている。 ・体罰やセクシャル・ハラスメントの防止をはじめ、人権尊重の姿勢にもとづいた生徒指導が行われている。
学 校 運 営	1) 生徒のニーズを的確に把握し、授業や教育の質的向上をめざす。そのため、教職員の研修を充実させ、その成果を学校運営に生かすよう工夫する。 2) 多様な生徒への個に応じた教育実践推進のため、学校業務のスリム化・重点化を図り、生徒理解のための情報共有や協力的指導体制の確立に努めるなど、より効果的にして機能的な学校運営組織を実現する。 3) 学校教育自己診断の実施とその分析、学校協議会の設置とその運営をとおして、本校への社会的ニーズや提言を把握・検討して学校改善に努める。また、「学校説明会」の充実を図り、本校の学習システムに関する府民の理解を求める。	<p><b>概ね達成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会議をはじめ各種会議が、情報交換と課題検討の場として有効に機能している。</li> <li>・教職員間の相互理解が十分になされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。</li> <li>・日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談しあえるような職場の人間関係ができています。</li> <li>・校内研修組織が確立し、ほぼ計画的に研修が実施されている。</li> </ul> <p><b>やや課題あり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各分掌や各年次間の連携が円滑に行われ、より有機的に機能するよう工夫する余地がある。</li> <li>・研修・研究に参加した成果を、他の教職員に伝える機会の設定について、工夫する必要がある。</li> </ul>

## 2. 学校教育自己診断における結果と分析

<p>*実施対象（生徒）</p> <p>【平均は2.5で肯定的な場合は4点に近く、否定的な場合は1点に近い数字となる。】</p> <p>2番の「この学校には、他の学校にない特色がある」が今回も高得点である。生徒（特に編入学・転入学生が多い）にとっては、全日制の学校や学年制と比較して本校はかなり特色のある学校という印象が強い。</p> <p>昨年と異なる項目がひとつ。10番の「悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い」が2.88から3.07と大きく得点を伸ばしたことはうれしい結果である。11番の「先生は他の人に知られたくない秘密を守ってくれる。」の3.10と共に教員への信頼度は高いといえる。</p> <p>得点の低い5項目は昨年と変わらないが、部活動、近隣、地域に関わる設問の得点がアップしている。本校が目指している地域連携や部活動の活性化という観点で取り組みが進んでいると評価できるかもしれない。6番の「授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある」の得点は4年間で最低となっている。本校の内向的な生徒の気質の一端をあらわしているともいえるが、授業の工夫などで改善できる可能性があり、今後の課題として捉えたい。</p>
--

## 3. 学校協議会における提言内容

<p>*実施日 平成21年1月18日(日)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校周辺清掃活動は地域とのコミュニケーションにつながる。</li> <li>・「スクールカラーサポートプラン」学校緑化等の取組みは、正に命の育みであり生徒にとって有意義である。</li> <li>・広報活動としての看板、垂れ幕の掲出は効果的である。</li> <li>・生徒会活動が活性化してきており、これからも生徒が誇りを持って取り組めるよう育んでいってほしい。</li> </ul> <p>(まとめ)</p> <p>大阪の公立の通信制は本校だけであり、昼間定時制も大阪で初であった。珍しい本校では、多様な生徒が学んでおり、デメリットもあるかもしれないが、メリットもたくさんある。ぜひ協力し、よりいっそうすばらしい桃谷高等学校にしてほしい。</p> <p>なお、学校協議会については、これだけ大きな学校で現状のままでは十分な協議ができない。来年度以降、そのあり方について検討していただきたい。</p>
---